

## 学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：アジアの経済発展と立地・環境：都市・農村関係の再構築を考える
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
  - ・後援：World Social Science Forum(WSSF) 第4回世界大会（福岡開催）組織委員会、総合地球環境学研究所
- 3 開催日時：平成29年7月8日（土） 13時30分～17時30分
- 4 開催場所：日本学術会議講堂
- 5 開催趣旨：

大都市の拡張が続くアジア。それに伴って膨張する人口に、水、電気、食糧をどう安定的に供給するかが急務となっている。しかし、供給体制の構築だけを追求すると、今度は生態系を崩し、人類の生存基盤自体が脅かされる可能性がある。経済発展、生存基盤の確保、自然環境の保全のバランスはどうすれば維持できるだろうか。誰が、どのような価値基準でその地域の発展を律すべきか。この問題は、長期的かつグローバルに見ると、人口縮小社会に向かう日本にとっても無縁ではない。このフォーラムでは、フューチャー・アースにおける「日本の優先課題」の一つとして抽出された「都市・農村関係」を取り上げ、研究の最先端を紹介しつつ、地球環境問題の一つの核に迫る。
- 6 参加人数：
  - 講演者等：9名
  - その他の参加者：33名
- 7 特記事項：

実際の参加者は少なかったが、10以上の学会や研究グループのグループ・メールを流してもらった結果、東京以外の（参加できない）人たちからも意味のある反応があった。

また、学会のメールなどで知って参加された専門家から、パネル・ディスカッションに有意義なコメントが寄せられた。閉会挨拶をお願いした広渡前会長を含め、多くの方からこのテーマで出版社から論文集を刊行することを強く勧められた。『学術の動向』にも、可能であれば、なんらかのかたちで内容を掲載したい。

後援していただいたWSSF組織委員会と地球研では、間違いなくフォローアップの活動を行い、2018年のWSSFでのパネルなどにつなげる予定である。